

奥入瀬ネイチャーガイドらがトンネル見学 ～NPO「おいけん」が奥入瀬BP避難坑工事を体感!～



掘削機の説明を受けるガイドたち

4月24日・25日の両日、NPO法人奥入瀬自然観光資源研究会(通称:おいけん)の奥入瀬観光ガイド17名が、奥入瀬(青ぶな山)バイパスとして施工中の青ぶな山トンネル『避難坑』工事の現場を見学しました。

奥入瀬(青樫山)バイパスは、一般国道103号の青森県十和田市青樫山～十和田市子ノ口の幅員狭小、線形不良及び急勾配の隘路区間や交通規制区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的とした道路です。

見学会では、工事概要の説明を受けたあと、トンネル内部の施工作業の説明を受けながら、実際の作業状況を見学しました。

※避難坑とは、本坑に先駆けて掘削し地質や土質、水脈の調査などを行うということと、本坑開通後に車両事故等があった場合の避難路となるという二つの役割があります。



インフォメーション館でトンネル工事の学習

見学者の声

- ・期待以上に感動した。トンネルの中を見る機会はなかなかないので貴重な体験だった。
- ・環境保護と利活用の双方のバランスをとるために、壮大な計画が少しずつ進んでいることに感動しました。この事はこれまでのガイドでも話していましたが、もう少し実感を伴った話ができそうです。
- ・次の世代に奥入瀬の上質な自然を引き継いでいく為の大事な工事なので、現場で作業されている方々の安全を願い、早く完成して欲しいと思いました。